

令和8年度学校自己評価システムシート (埼玉県立大宮光陵高等学校)

目指す学校像	校訓「自立、協調、創造」の理念のもと、確かな学力と専門的な能力を身に付け、情操豊かで、自主的・創造的な精神を持つ人間を育てる。
--------	---

重点目標	1 確かな学力の向上と自立する力の育成に向け、学習意欲を高める授業を展開し、生徒一人一人の進路希望実現を支援する。 2 グローバルな視野を養う機会を推進し、豊かな人間性と創造性を育み、様々な角度から物事を考え自ら率先して行動できる人材を育成する。 3 多様で特色ある本校の情報を積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進する。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 (月 日 現 在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 学校自己評価アンケート結果から生徒・保護者ともに授業の満足度は高い。生徒により主体的に学習に取り組ませ、学力向上につなげることが求められる。また、進路指導に対する期待も大きく、生徒が主体的に進路について考え、引き続き将来を見据えた選択ができるようにすることが必要である。 【課題】 ①DX対応能力や情報リテラシー育成の経験的・体験的な過程を通じた学びを進める。 ②ICTの活用とともに学力向上をめざす。 ③キャリア教育における将来構想の体験的学習により、人権意識を獲得させ豊かな人間性を育成する。	①学習指導要領が目指す資質・能力の獲得に向けた授業の工夫・改善 ②ICTの活用と主体的な学習及び学力向上に向けた取組の実践 ③キャリア教育の充実と学科・学年の連携による進路指導体制の構築	①生成AIの活用とともに、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を深化させた授業を実践する。 ②生徒の主体的な学習及び学力向上に向けてICTを効果的に活用した授業づくりに取り組む。 ③OKプロジェクトをふまえた「総合的な探究の時間」を実施し、進学補講の充実や外部機関と学習支援での連携を図り、生徒の自立的な学習習慣を向上させ進路実現につなげる。	①生成AIを活用した協働的な学びを通じて生徒の変容が確認できたか。 ②-1 「学校自己評価生徒アンケート」の授業に関する項目の満足度結果80%以上を達成したか。 ②-2 ICTを効果的に活用した授業づくりに取り組めたか。 ③-1 希望進路の達成率90%以上を達成したか。 ③-2 OKプロジェクトをふまえた「総合的な探究の時間」を実施できたか。			
2	【現状】 ハイレベルの芸術活動や国際交流、外国語コースの取組などを特色とし、学校行事や発表会などの教育活動が活発に実施され、生徒・保護者ともに満足度は高い。 【課題】 ①4学科1コースの特色を生かした行事や取組を積極的に実施する。 ②国際交流を積極的に展開し、体験活動の質を高める。 ③生徒の主体性を生かし、学科間交流をふまえた学校行事の充実により、学校の一体感を醸成する。	①学校行事と学科・部活動の活性化と情報発信の推進 ②国際交流の充実 ③組織力を活かした生徒指導とともに、様々な教育活動とおして学校生活に充実感を持たせ、個々の生徒の学びの意欲を高める。	①-1 生徒の主体的な取組によって学校行事を活性化するとともに、学科・コースの校内外の発表・展覧会等の成果や各部活動の活動状況の情報を共有し、組織的に生徒の学習意欲を高める。 ①-2 学校ホームページやインスタグラム等のSNSによる情報発信を積極的にを行い、生徒保護者の満足度を高める。 ②-1 ニュージーランド研修を実施する。 ②-2 学科・コースの特色を生かした国際交流事業の実施や情報機器等を活用した同時進行型の活動を実施する。 ③-1 生徒の主体性を育む生徒指導を推進し、生徒が主体的に諸行事を運営する姿勢を育む。 ③-2 全教員の共通認識のもとに生徒指導部を中心とした学校組織の機能を活かした生徒指導を行う。	①-1 学科・コースの校内外の発表や展覧会、部活動の活動状況・成果等の情報提供が適切に行われ、各種大会やコンクールで成果を修めることができたか。 ①-2 「学校自己評価生徒・保護者アンケート」の学校行事に関する項目の満足度結果が生徒、保護者ともに肯定的な回答80%以上を達成したか。 ②-1 研修成果を全校に報告できたか。 ②-2 事前、事後指導を含めた国際交流事業を実施し、その成果を全校に報告できたか。 ③-1 「学校自己評価生徒アンケート」の基本的な生活習慣に関する項目の結果が、肯定的な回答80%以上を達成したか。 ③-2 「学校自己評価生徒アンケート」の学校生活に関する満足度結果が肯定的な回答80%以上を達成したか。			
3	【現状】 学校からの情報提供については一定の評価は得られているが情報発信の工夫・改善が必要である。地域連携は充実しており市内での評判も好評である。 【課題】 ①学校ホームページの刷新とインスタグラムの活用による情報発信を充実させ、本校の知名度向上につなげる。 ②本校の教育活動の実践とその成果について、生徒、保護者、学校で効果的に情報共有を行う。 ③地域交流活動や地域行事への参加、中学校訪問、中学校関係者への説明会等を通して、本校の特色・魅力を発信し魅力を高める。	①②学校ホームページやインスタグラム等を有効活用した情報発信 ③地域交流活動や説明会などで本校の特色ある教育活動の情報を発信する。	①学校ホームページの更新やVRの作成、インスタグラムの開設を推進する。 ②学校ホームページやメール、通知などをおして適時適切に保護者へ案内する。 ③-1 地域の小・中学校との交流を継続し、本校の特色を積極的に発信する。 ③-2 交流活動の精選を行いながら、地域交流活動や地域行事への参加、中学校関係者への説明会等をおして本校の特色・魅力を発信する。	①-1 行事等の案内を実施日の2週間前に発信することができたか。 ①-2 インスタグラムを開設した部活動等の増加やVRの開設、学校ホームページの更新が行われたか。 ②情報提供に対する保護者の満足度が向上したか。 ③-1 小学生・中学生の参加者は増加したか。 ③-2 説明会等の参加者数、本校志願者数は増加したか。			

学校関係者評価
実施日 令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等